

■2025年度

事業報告

I. 2026年度 日本イベント産業振興協会(JACE)を取り巻く概況

2025年の社会・経済・産業は「不確実性と構造変化の定着」の1年であった。世界的には「第2次トランプ政権」による相互関税の導入や、地政学リスクに伴うサプライチェーンの再編が貿易に混乱をもたらした一方、生成AIブームが実需へと移行し、世界規模でのデータセンター建設やAIインフラ投資が爆発的に拡大。半導体や電力関連産業が成長を牽引した。

国内では、2024年に続き2年連続となる大幅な賃上げ(5.39%)が実現したものの、物価上昇による消費への圧迫が継続。産業面では、Windows10のサポート終了に伴うPC買い替え需要や、高市新政権への期待感を背景に日経平均株価が史上初の5万円台に到達するなど、変化と高揚が混在した1年となった。

イベントを取り巻く世界に目を転じると、電通発表の2025年1月～12月の日本の総広告費は、4年連続で過去最高を更新する8兆623億円(前年比105.1%)となり、そのうちインターネット広告費は、SNS上の縦型動画広告やコネクテッドTVなどの動画広告需要の高まりから、4兆459億円(前年比110.8%)と初の4兆円超えとなり、総広告費に占める構成比が初めて半数超えとなる50.2%となった。それに対しマスコミ4媒体広告費は2兆2,980億円(前年比98.4%)とほぼ横ばいだった。また、プロモーションメディア広告費は1兆7,184億円(前年比102.0%)と3年連続でプラスとなったが、中でも「イベント・展示・映像ほか」については、2025年大阪・関西万博を筆頭とする大型イベント等の影響で4,748億円(前年比111.2%)と二桁成長となった。

JACEの調査研究活動である「イベント産業規模推計」においても、2025年のイベント産業は、イベント関連産業(広告・制作会社、イベント専門企業などイベントを主業としている業種および警備業、人材派遣業などイベントを売上げの一部としている業種・業態)の産業規模は1兆1,478億円(前年比117.2%)、さらにイベント周辺産業(音楽コンサート、演芸・スポーツ興行など 娯楽・エンタメ産業)までも含めた規模も3兆1,798億円(前年比111.4%)と大きく伸長し、コロナ前の2019年と比較してもイベント関連産業で119.7%、全体で121.7%と大幅増となった。

一方、イベントカテゴリ毎の来場者の消費額を調査している「イベント消費規模推計」においても、イベントの全体消費規模金額は18兆3,937億円(前年比109.7%)と大きく伸長したが、カテゴリ別にみると伸長分の大半は博覧会(2兆188億円、前年比プラス1兆9,917億円)であることがわかり、ここでも大阪・関西万博の影響が顕著に見える。

一回のイベントに対する来場者消費額は、32,481円(前年比119.6%)と2割近く数字を伸ばしたが、内訳をみると博覧会の平均支出額が73,223円と突出して高く、ここでも大阪・関西万博が全体平均を押し上げているとみることができる。

また、オンラインイベントへの今後の参加意向について、最も多い「音楽アーティストのライブ」でも19.6%（昨年は34.3%）しかなく、全てのイベントで前回よりも参加意向が下がっている。

2026年は、物価高や雇用構造の変化が常態化する中で、個人・企業双方の価値観や行動様式が大きく転換する局面にある。生活者の消費行動においては、単なる価格や量ではなく、「参加する意義」や「共感できる体験」を重視する傾向が一段と強まり、企業においても短期的な効果にとどまらない、中長期的なブランド価値や社会的意義の提示が求められている。

こうした変化の中、イベントはメッセージや理念について体験を通して伝える手段として、その役割を深化させている。大阪・関西万博は、イベントが経済効果に加え、社会課題の発信や多様な主体の共創を促す装置となり得ることを示した象徴的な事例であり、ポスト万博のイベント業界には、その成果を一過性に終わらせず、持続的な価値創出につなげることが求められている。

また、2027年に控える横浜花博は、環境配慮や共生といったテーマを通じ、イベントの社会的価値をさらに進化させる絶好の機会となりえる。2026年は、人材育成やサステナビリティ対応を含む業界基盤の強化を進め、次の成長フェーズに向けた準備を本格化させる重要な一年となるだろう。

JACEは、社会環境や価値観が大きく変化する中で、イベント業界が果たすべき役割を見据え、次代を担う人材の発掘・育成やサステナビリティの推進など、会員個社のみでは対応が難しい課題に対して、会員社をはじめ、業界関連団体、行政、主催者、イベント会場等との連携を図りながら解決策を追求していく。これらの取り組みを通じ、イベントが社会に共感と価値をもたらす存在として進化し、業界全体がより魅力ある産業となることを目指していきたい。

II. 2025年度事業活動報告

2-1 総会及び理事会

2-1-1 総会

総会は、定款第20条の規程にもとづき石井直代表理事が社員全員に対して社員総会の目的である事項について提案書兼報告書を発し、全会社員から書面による同意の意思表示を得て以下の通り開催し、当該議案の決議が成立した。

●第24回定時総会

日時 2025年6月18日

場所 虎ノ門ヒルズ森タワー 5階「虎の門ヒルズフォーラムホールA」

構成員現在数71名、出席構成員数53名（内委任状による代理人出席14名、議長委任32名）

【議題および報告事項】

議題1. 2024年度決算報告書 承認の件《第1号議案》

議題 2. 理事選任（案）承認の件《第 2 号議案》

●第 25 回臨時総会

日時 2025 年 11 月 21 日

実施形態 電磁的方法（メール）による報告資料の提出

【議題および報告事項】

議題 1. 理事選任案 承認の件《第 1 号議案》

●第 26 回臨時総会

日時 2026 年 3 月 13 日

実施形態 電磁的方法（メール）による報告資料の提出

【議題および報告事項】

議題 1. 理事選任案 承認の件

2-1-2 理事会

●第 61 回理事会（書面決議）

日時 2025 年 5 月 19 日

実施形態 電磁的方法（メール）による報告資料の提出

【議題および報告事項】

議題 1. 2024 年度 決算諸表 承認の件《第 1 号議案》

議題 2. 新規会員入会 承認の件《第 2 号議案》

●第 62 回理事会

日時 2025 年 6 月 18 日

場所 虎ノ門ヒルズ森タワー 5 階「虎の門ヒルズフォーラムホール A」

参加人数 理事出席数 23 名《理事の現在数 24 名》 監事総数 2 名のうち出席 2 名

【議題および報告事項】

議題 1. 代表理事ならびに役職理事等選定 承認の件《第 1 号議案》

議題 2. 新規入会会員社 承認の件《第 2 号議案》

●第 63 回理事会

日時 2025 年 10 月 16 日

場所 ホテルグランドアークホテル半蔵門 3F「光の間」

参加人数 理事出席数 24 名《理事の現在数 24 名》 監事総数 2 名のうち出席 1 名

【議題および報告事項】

議題 1. 2025 年度 上期業務執行状況と今後の活動について

議題 2. 臨時総会開催 承認の件<第 1 号議案>
新規入会正会員 承認の件<第 2 号議案>

●第 64 回理事会

日時 2026 年 1 月 27 日
場所 第一ホテル東京 21F 「ルミエール」
参加人数 理事出席数 23 名《理事の現在数 24 名》 監事総数 2 名のうち出席 2 名

【議題および報告事項】

議題 1. 2025 年度 下期業務執行状況の報告
議題 2. 新規入会正会員 承認の件<第 1 号議案>
議題 3. 臨時総会開催 承認の件<第 2 号議案>

●第 65 回理事会

日時 2026 年 3 月 26 日
場所 ホテルグランドアークホテル半蔵門 3 階「光の間」
参加人数 理事出席数 19 名《理事の現在数 23 名》 監事総数 2 名のうち出席 2 名

【議題および報告事項】

議題 1. 2025 年度 活動総括および事業運営について
議題 2. 今後の主なスケジュール
議題 3. 2026 年度 事業計画・収支予算（案）承認の件<第 1 号議案>
議題 4. 正会員新規入会 承認の件 <第 2 号議案>
議題 5. 2026 年度「第 27 回定時総会」開催 承認の件<第 3 号議案>

2-2 会員事業及び協会運営

2-2-1 会員事業

今年度も正会員法人からの出向者を中心とした運営体制を継続し、正会員の参画による委員会・部会の活動はオンライン化も含めて実施した。

また、新規会員社を増やすために、ひきつづき加入依頼のアプローチを実施。

正会員 82 法人（12 法人増、1 法人減）、準会員 1 法人、賛助会員 22 法人。計 105 法人に増加

2-2-2 協会運営（正会員社の参画による委員会等の活動）

① 総務委員会

役 割	氏 名	会員社名	部署名／役職名（2025 年 6 月 1 日時点）
委員長	舛森 丈人	(株)テー・オー・ダブリュー	取締役 兼 執行役員 管理本部長

副委員長	稲場 幸家	(株)丹青社	文化・交流空間事業部 副事業部長
委員	田所 義教	(株)ADKクリエイティブ・ワン	第1 デジタル&アクティベーション・プロデュース本部 本部長
委員	佐々木 淳	(株)ジェイアール東日本企画	企画制作本部プロモーション局 調査役
委員	塩谷 貴行	(株)JTB	ビジネスソリューション事業本部 事業推進部 事業推進チーム 事業推進担当マネージャー
委員	松田 英彦	(株)セレスポ	取締役 事業本部副本部長
委員	横田 耕一	大日本印刷(株)	情報イノベーション事業部 ハイブリッドマーケティングセンター ソーシャルコミュニケーション本部 イベント企画開発部 部長
委員	山本 統	(株)電通ライブ	執行役員
委員	高橋 武久	(株)東急エージェンシー	CXソリューション本部 副本部長 兼 アクティベーションデザイン局 局長
委員	佐藤 秀樹	(株)乃村工藝社	執行役員 営業推進本部 副本部長 兼 第四事業部 事業部長
委員	奥本 聡	(株)博報堂プロダクツ	イベント・スペースプロモーション事業本部 本部長補佐
委員	塩川 学	(株)マッシュ	執行役員
委員	秋山 稔	(株)ムラヤマ	取締役

* JACE事務局担当：大木、尼子

協会の運営を円滑に進行する実施機関として7回開催

- 第1回 2025年4月24日 ハイブリッド開催
- 第2回 2025年5月15日 ハイブリッド開催
- 第3回 2025年6月9日 ハイブリッド開催
- 第4回 2025年7月7日 リアル開催
- 第5回 2025年10月9日 ハイブリッド開催
- 第6回 2026年1月20日 ハイブリッド開催
- 第7回 2026年3月19日 リアル開催

- 活動状況
1. 理事会開催前に事務局活動報告を確認、意見交換
 2. 新規会員社獲得プロジェクトの推進
 3. 委員交代時 新メンバー紹介等

② 人材育成委員会

役割	氏名	会社名	部署名/役職名 (2025年6月1日時点)
委員長	長田 芳暁	(株)博報堂プロダクツ	取締役執行役員 イベント・スペースプロモーション事業本部 本部長
副委員長	小坂井 彰	五大陸(株)	代表取締役

委員	間藤 芳樹	(株)マッシュ	代表取締役
委員	内山 早苗	(株)UDジャパン	代表取締役会長
委員	内宮 真一	(株)スポーツマネージメント	代表取締役社長
委員	酒井 基喜	(株)マッシュ	執行役員 業務管理・東京支店担当
委員	越川 延明	(株)セレスポ	執行役員 人事総務部長 兼 広報室長
委員	綿木 啓了	(株)ディー・エヌ・エー	万博プロジェクト室長
委員	磯部 陽一	(株)レイ	取締役

* J A C E事務局担当：高田、石山

資格・検定制度の価値向上および運営を円滑に進行するため7回開催

- 第1回 2025年5月14日 オンライン開催
- 第2回 2025年6月25日 オンライン開催
- 第3回 2025年7月16日 オンライン開催
- 第4回 2025年9月24日 オンライン開催
- 第5回 2025年12月3日 オンライン開催
- 第6回 2026年1月14日 オンライン開催
- 第7回 2026年3月6日 リアル開催

※その他「イベント検定テキスト改訂作業」WG 開催

- 活動状況
1. 資格価値向上に向けた施策立案、実施
 2. 認定校拡大に向けた施策立案、実行
 3. 受験者増に向けた施策立案、実施
(会員や賛助会員への協力、広報活動など)
 4. 「イベント検定公式テキスト」全面改訂
 5. 2025年度資格・検定運営（一般、認定校）
 6. 「イベント検定」試験対策セミナー動画制作
 7. 新版テキストを用いた試験問題作成
 8. 業務管理士データベースの新構築

③ アワード部会

役割	氏名	会社名	部署名/役職名 (2025年6月1日時点)
部会長	中村 暢明	(株)電通ライブ	第1プロデュースユニットグランドマスター
アドバイザー	宮本 倫明	(株)L a n d a	代表取締役
メンバー	佐々木 淳	(株)ジェイアール東日本企画	企画制作本部プロモーション局 調査役
メンバー	田所 義教	(株)ADKクリエイティブ・ワン	第1デジタル&アクティベーション・プロデュース本部 本部長

メンバー	塩谷 貴行	(株) J T B	ビジネスソリューション事業本部 事業推進部 事業推進チーム 事業推進担当マネージャー
メンバー	原田 伸介	(株)新東通信	パブリックビジネス事業本部 J P 事業G長
メンバー	越川 延明	(株)セレスポ	執行役員 人事総務部長 兼 広報室長
メンバー	横田 耕一	大日本印刷(株)	情報イノベーション事業部 ハイブリッドマ ーケティングセンター ソーシャルコミュニ ケーション本部 イベント企画開発部 部長
メンバー	稲場 幸家	(株)丹青社	文化・交流空間事業部 副事業部長
メンバー	舛森 丈人	(株)テー・オー・ダブリュー	取締役 兼 執行役員 管理本部長
メンバー	高橋 武久	(株)東急エージェンシー	C X ソリューション本部 副本部長 兼 アクティベーションデザイン局 局長
メンバー	鎌田 浩史	T O P P A N(株)	情報コミュニケーション事業本部 ソーシャ ルビジネスセンター 企画開発本部 本部長
メンバー	佐藤 秀樹	(株)乃村工藝社	執行役員 営業推進本部 副本部長 兼 第 四事業部 事業部長
メンバー	奥本 聡	(株)博報堂プロダクツ	イベント・スペースプロモーション事業本部 本部長補佐
メンバー	間藤 寛太	(株)マッシュ	コミュニケーションデザイン室長
メンバー	秋山 稔	(株)ムラヤマ	取締役
メンバー	内山 早苗	(株)UD ジャパン	代表取締役会長
メンバー	中村 久	(株)ノムラメディアス	経営企画室 室長
メンバー	和田 怜	(株)ジャプロ	代表取締役
メンバー	川本 達人	(株)グローバルプロデュース	執行役員 C P O チーフプランニングオフ イサー

* J A C E 事務局担当：尼子、大木、沖

イベントアワード運営を円滑に進行するためWGを含め 2 回開催

●第 1 回 2025 年 8 月 25 日 オンライン開催

【ワーキンググループ】

●第 1 回 2025 年 7 月 30 日 オンライン開催

【第 1 次選考会】

●2026 年 3 月 27 日 ハイブリッド開催

□ 活動状況 ・作品応募のお願い

- ・エントリーシートの見直しについて
- ・表彰式の見直し
- ・スペースデザイン賞の新設
- ・選考委員の刷新
- ・P R 施策について

④ サステナビリティ委員会

役割	氏名	会社名	部署名/役職名 (2025年6月1日時点)
委員長	越川 延明	(株)セレスポ	執行役員 人事総務部長 兼 広報室長
副委員長	羽山 寛幸	(株)昭栄美術	専務取締役
副委員長	松本 秀之	(株)フロンティア インターナショナル	第3営業本部 執行役員本部長
委員	板山 智昭	コーユレンティア(株)	イベント営業部 課長代理
委員	永門 優作	(株)ジールアソシエイツ	取締役 常務執行役員 営業統括本部 本部長
委員	石黒 陽子	(株)JTBコミュニケー ションデザイン	サステナビリティ推進局
委員	福傳 弘二	TSP太陽(株)	事業統括本部 制作本部 施工管理部 部長
委員	竹嶋 理恵	(株)電通	サステナビリティコンサルティング室 エグゼクティブ・プランニング・ディレクター
委員	大高 良和	(株)電通ライブ	第1ビジネスクリエイションユニット ユニット長補
委員	森下 慎一	(株)東急エージェンシー	CXソリューション本部 アクティベーションデザ イン局 第1アクティベーション部 部長
委員	松本 洋伸	TOPPAN(株)	情報コミュニケーション事業本部 ソーシャルビジ ネスセンター 企画開発本部ソーシャルプランニ ング1部1T 課長
委員	松原 努	日本コンベンション サービス(株)	マネジメント本部 広報戦略部 ワンプラネット・ 地域共創スペシャリスト
委員	宮坂 清佳	(株)乃村工藝社	クリエイティブ本部 未来創造研究所ビジョンデザ イン部サステナブルデザインラボ 主任
委員	白川 陽一	(株)博展	サステナビリティ推進部長 兼 商環境事業部 ディレクション部長

* JACE事務局担当：尼子、大木

イベント業界のサステナビリティ化推進のため6回開催

- 第1回 2025年5月19日 ハイブリッド開催
- 第2回 2025年7月14日 ハイブリッド開催
- 第3回 2025年9月24日 ハイブリッド開催
- 第4回 2025年11月17日 ハイブリッド開催
- 第5回 2026年1月19日 ハイブリッド開催
- 第6回 2026年3月16日 ハイブリッド開催

- 活動状況
1. CEATEC2025 エコ&デザインチャレンジへの全面協力
 2. 会員社向けアンケート調査の企画・実施・考察
 3. 会員社啓発目的のウェビナーを企画・実施
 4. 会員社向けサステナビリティ視察企画の立案
 5. 業界標準カーボンカリキュレーター策定への協力
 6. イベント業界6団体コンソーシアムプロジェクトへの協力

7. 若手交流会とのジョイント企画の実施

⑤ 交流部会

役割	氏名	会社名	部署名/役職名(2025年6月1日時点)
部会長	松崎 満	(株)小林工芸社	取締役 営業副本部長
メンバー	鈴木 美津子	(株)エクシードコネクト	代表取締役
メンバー	石橋 計	(株)クラフティ	営業本部 東日本ブロック 統括部長
メンバー	本間 澄江	(株)サピエント	東京本社 上席執行役員
メンバー	永門 優作	(株)ジールアソシエイツ	取締役 常務執行役員 営業推進本部 本部長
メンバー	梅沢 和孝	(株)ディー・エヌ・エー	執行役員 プロモーション1部 部長
メンバー	池本 竜	PRG(株)	営業部 ディレクター/部長
メンバー	木白 豊	(株)レンタルのニッケン	中部支社 営業部 イベントチーム チームリーダー
メンバー	中原 康哉	(株)ワールドカラー	取締役社長

* JACE事務局担当：大木、尼子

JACE会員間のコミュニケーションの活性化、入会メリットの具現化のため6回開催

- 第1回 2025年4月23日 リアル開催
- 第2回 2025年5月29日 リアル開催
- 第3回 2025年7月30日 リアル開催
- 第4回 2025年11月26日 リアル開催
- 第5回 2026年12月18日 リアル開催
- 第6回 2026年3月5日 リアル開催

- 活動状況 1. JACE会員間の交流企画・実施
2. 若手交流会の指導・サポート

2-3 人材育成事業

オンライン試験(CBT方式)も軌道に乗り受験者は増加傾向にある。

2-3-1 資格事業 イベント業務管理士1級・2級

① イベント業務管理士1級試験

2級登録者を対象とした1級試験は、2026年1月16~2月1日の17日間実施した。受験者数は57名(前年比89%)、合格者は37名(同100%)で合格率65%であった。

年度	受験者数	合格者数	合格率
2023年	60	13	22%
2024年	64	37	58%

2025年	57	37	65%
-------	----	----	-----

② イベント業務管理士2級試験

例年どおり、2025年7、11月に実施した。前期試験は2025年7月1～31日、後期試験は2025年11月1～30日に実施した。受験者数は374名（前年比115%）、合格者は186名（同92%）で合格率50%であった。昨年を大きく上回る受験者数となった。

年度	受験者数	合格者数	合格率
2023年	280	180	64%
2024年	324	203	63%
2025年	374	186	50%

③ イベント業務管理士1級・2級新規登録・資格更新

【新規登録】

今年度の新規登録対象者は、1級37名、2級186名、合計223名で、それぞれ37名（登録率100%）、178名（同96%）の合計215名が登録した。

※登録料は、1級13,000円、2級10,000円

年度	1級新規登録者数	登録率	2級新規登録者数	登録率
2023年	13	100%	176	98%
2024年	37	100%	187	92%
2025年	37	100%	178	96%

【資格更新】

イベント業務管理士は、3年ごとに更新手続きを実施している。

今年度の1級資格更新対象者は526名で、389名（更新率74%）が更新手続きを行った。2級資格更新対象者は204名で、156名（同76%）が更新手続きを行った。

※登録更新料は、1級13,000円、2級10,000円

年度	1級更新者数	更新率	2級更新者数	更新率
2023年	417	81%	181	52%
2024年	256	89%	123	55%
2025年	389	74%	156	76%

2-3-2 検定事業

イベント・スポーツイベント・ユニバーサルイベントの3検定は、例年どおり、2025年7、11月に実施した。前期試験は2025年7月1～31日、後期試験は2025年11月1～30日。

① イベント検定

一般会場受験 273 名（前年比 98%）、賛助校は 21 校から 344 名（同 73%）、合計 617 名（同 82%）が受験し、403 名（同 86%）が合格した。合格率 65%であった。

年度	受験者数	合格者数	合格率
2023 年	665	445	67%
2024 年	748	469	63%
2025 年	617	403	65%

② スポーツイベント検定

一般会場受験 82 名（前年比 93%）、賛助校は 15 校から 220 名（同 96%）、合計 302 名（同 95%）が受験し、141 名（同 109%）が合格した。合格率 47%であった。

年度	受験者数	合格者数	合格率
2023 年	221	139	63%
2024 年	317	129	41%
2025 年	302	141	47%

③ ユニバーサルイベント検定

62 名（前年比 127%）が受験し、57 名（同 92%）が合格した。合格率 94%であった。

年度	受験者数	合格者数	合格率
2023 年	45	38	84%
2024 年	49	42	86%
2025 年	62	57	92%

2-3-3 教育（セミナー）事業

試験対策セミナー受講者数は、「イベント業務管理士 1 級」は 45 名（前年比 92%）、「イベント業務管理士 2 級」は 64 名（同 73%）、「イベント検定」58 名（同 79%）、「スポーツイベント検定」18 名（同 69%）、「ユニバーサルイベント検定」28 名（同 200%）。

※受講料は、1 級・2 級各 25,000 円（会員 22,500 円）、3 検定各 7,000 円（会員 6,300 円）

年度	イベント業務 管理士 1 級	イベント業務 管理士 2 級	イベント 検定	スポーツ イベント検定	ユニバーサル イベント検定
2023 年	39	56	51	23	12
2024 年	49	88	73	26	14
2025 年	45	64	58	18	28

2-3-4 その他施策

① 「2025 年度 JACE イベント資格・検定」の経済産業省後援事業認証

JACEの4つの資格・検定に対し、経済産業省後援事業として認証を継続。2026年度以降も継続して使用申請を行う。

② イベント検定公式テキスト全面改訂

2025年4月の「新版イベント業務管理士公式テキスト」の改訂にあわせ、社会や経済動向の大きな変化、サステナブルや多様性の理解・合理的配慮をテキストに包含させることをテーマに、イベント検定公式テキストも改訂を実施。

これから社会に出る人材に向けて、イベントに大事なことを学んでもらい、よりイベントへの関心を高めてもらうことが本書の目的。2026年12月に「新版イベント検定公式テキスト」として販売開始。

③ キャリア形成支援情報掲示板新設

JACE会員社と認定校学生のエンゲージ強化を目的に「キャリア形成支援情報掲示板」をJACEホームページ内に新設した。

主な提供情報は、①会員社の事業内容 ②キャリア形成プログラムの紹介 ③開催時期、場所、待遇などの情報 ④会員社採用ページへのリンクなど。

2-4 調査研究事業

2-4-1 イベント産業規模推計

2025年6月に発表した、2024年のイベント関連産業（※1）の産業規模は9,797億円（前年比107.2%）。周辺産業（※2）まで含めた規模は2兆8,535億円（同108.3%）となり、2019年比で、それぞれ102.1%、109.2%と、ついに新型コロナウイルス流行前の数値を上回った。

※1 イベント関連産業 広告・制作会社、イベント専門企業などイベントを主業としている業種および警備業、人材派遣業等、イベントを売上げの一部としている業種・業態

※2 イベント周辺産業 音楽コンサート、演芸・スポーツ興行団など娯楽・エンタメ産業等

2-4-2 イベント消費規模推計

2025年6月に発表した、2024年イベント消費規模推計において、イベント全体の消費規模は16兆7,665億円（前年比99.2%）と前年をわずかに下回った。

カテゴリー別では、興行イベントが6兆8,209億円（同102.2%）、フェスティバルが2兆4,953億円（同107.7%）、文化イベントが2兆4,033億円（同92.5%）、スポーツイベントが2兆1,535億円（同94.2%）、会議イベントが1兆3,990億円（同93.7%）、見本市・展示会が8,388億円（同95.3%）、販促イベントが6,288億円（同102.4%）となった。

一回のイベントに対する来場者消費額は、27,164円（同101.0%）と微増に留まった。

2-5 普及啓発事業

2-5-1 JACE イベントアワード

今年度の「第11回JACEイベントアワード」(後援:経済産業省)も昨年に引き続き、イベント主催者の性格ごとに「①企業・業界団体」「②政府・自治体・公共団体」「③学生・NPO・各種団体・個人」の3部門に分類し募集を行った。応募数は自薦他薦合わせ合計155作品で、6月18日に虎ノ門ヒルズフォーラムメインホールにて表彰式を開催した。

<最優秀賞 経済産業大臣賞(日本イベント大賞)>

・ゴジラ対(つい)サガ 佐賀県

<イベントプロフェッショナル賞>

・道頓堀「金龍のしっぽ」Project 金龍製麺(株)

<企業・業界団体部門>

ゴールド賞 道頓堀「金龍のしっぽ」Project
シルバー賞 Red Bull Basement World Final 2024
ブロンズ賞 TAMAARI SUPER QUEST Vol.4 PROJECT NOAH 地球脱出計画

<政府・自治体・公的団体部門>

ゴールド賞 ゴジラ対(つい)佐賀
シルバー賞 鳥取県立美術館開館半年前カウントダウンイベント
「からっぽの美術館を遊びつくそう!」
ブロンズ賞 清流文化地域推し活動(ちーオン)

<学生・NPO・各種団体・個人部門>

ゴールド賞 パラeスポーツ・フェスタ～インクルーシブ・テックで遊ぼう!～
シルバー賞 世界難民の日アイデアソン2024本気で考える『ビジネスと人権』
～難民と出会い、新たな未来を創発する～
ブロンズ賞 RiverDo!ひろしま川祭り2024

「第12回JACEイベントアワード」は新たにスペースデザイン賞を新設。選考委員についても入れ替えを実施して新たに2人の委員をお迎えした。またアワードの認知拡大を目指し、会員社のフルハウス社の協力のもと、PRを強化。

- ・選考委員(敬称略):中村利雄(委員長)、経産省文化創造産業課、東ちづる、加藤直人、谷川じゅんじ、谷口優、蜷川有紀、平原依文、宮本倫明
- ・表彰式(於:虎ノ門ヒルズフォーラムメインホール) :2026年6月16日

- ・作品応募総数：174 作品（自薦 119 作品、他薦 55 作品）

2-5-2 サステナビリティ委員会

① CEATEC 2025 「エコ&デザインチャレンジ」への全面サポート

CEATEC 2025 において、電子情報技術産業協会（JEITA）と連携し、環境配慮とデザイン性を総合的に評価する「エコ&デザインチャレンジ」を実施。本取り組みでは、「使いやすいサステナビリティガイドブック&チェックリスト」および「業界標準カーボンカリキュレーター」を初めて実装する画期的な場となり、JACE サステナビリティ委員会が企画から審査まで全てのプロセスにおいて中心的役割を担って実施。

② イベント業界標準「カーボンカリキュレーター」開発作業

博報堂プロダクツが開発した炭素測定オンラインプラットフォーム“SUSTAINABLE ENGINE CARBON SIMULATOR”をベースとし、参加会員社 12 社の知見を加え、新たな業界標準「カーボンカリキュレーター」を開発。6 月 25 日に JACE ならびに参加 12 社がプレスリリースを発表、2025 年度内のデモ版リリース、2026 年春の完成を目標。

③ 会員社へのサステナビリティに関するアンケート調査実施

4 年連続で会員社向けアンケート（インターネットによる会員各社のサステナビリティへの取組に関する実態把握調査）を実施、正会員社 49 社から回答を頂き、経年での変化を把握。

2-5-3 JACE イベント業界合同企業説明会の開催

イベント業界に関心のある学生の困り込み、イベント業界の理解促進による会員社と学生のミスマッチの是正、JACE 会員社にとっての優良人材の早期発掘、JACE 賛助校への貢献などを目的に、JACE 会員社による合同企業説明会をウェビナー形式で初めて開催した。

構成は、①イベント業界の構造解説 ②パネルディスカッション形式の合同企業説明会。

● 第 1 回 2025 年 10 月 10 日

ファシリテーター：岡星竜美氏（目白大学メディア学部特任教授）

登壇社：丹青社、ティー・ツー・クリエイティブ、電通ライブ、博報堂プロダクツ、マッシュ

会場：丹青社 港南ラボ マークスリー (Mk_3)

● 第 2 回 2026 年 2 月 27 日

ファシリテーター：岡星竜美氏（目白大学メディア学部特任教授）

登壇社：セレスポ、電通イベントオペレーションズ、ハウフルス、レイ

会場：丹青社 港南ラボ マークスリー (Mk_3)

2-5-4 JACE WEBINARの配信

JACE委員会横断の全体施策として「JACE WEBINAR」を会員社やイベント業務管理士に向けて合計6回配信。延べ600名を超える方が視聴した。

- 第1回 2025年6月25日

- ① 大阪・関西万博におけるサステナビリティ事例の紹介

- スピーカー：2025年日本国際博覧会協会持続可能性局 仲秋敏一氏

- ② 「イベントサステナビリティの実現に向けて」ISO20221の紹介と改訂のお知らせ

- スピーカー：セレスポ 中島立氏

- 登録者人数：116名

- 第2回 2025年8月27日

- 第11回JACEイベントアワード受賞者プレゼンテーション！！

- スピーカー：佐賀県政策部広報広聴課 藤吉洋輔氏

- 認定NPO法人フローレンス 黒木健太郎氏、岑鮎美氏

- 登録者人数：106名

- 第3回 2025年10月29日

- GREEN×EXPO2027 開幕まで500日

- スピーカー：2027年国際園芸博覧会協会推進戦略室 脇坂隆一氏

- 登録者人数：155名

- 第4回 2025年11月28日

- CX重視のプロスポーツ興行への移行

- スピーカー：シーホース三河アリーナプロジェクト推進室 堀江隆治氏

- 登録者人数：106名

- 第5回 2026年2月10日

- 業界標準カーボンカリキュレーターが切り拓く脱炭素イベントの未来

- スピーカー：博報堂プロダクツ 横山泉氏

- 博展 村松加奈江氏

- 電通ライブ 永川裕樹氏

- 登録者人数：163名

- 第6回 2026年3月30日

- イベント領域におけるDXソリューション

- スピーカー：レイ 磯部陽一氏／家中嵩之氏

アマナ 水流匡尚氏

デジタルエクスペリエンス 中島優太氏

登録者人数：182名

2-5-5 交流部会

JACE会員間のコミュニケーションの活性化、入会メリットの具現化、若手交流会の指導・サポートを実施した。

① JACEプレゼンテーション研修の実施

2025年9月3日、リアルコミュニケーションの機会が戻ってきた今、自身の話し方や相手に与える印象などを見直すきっかけとするため、「いまさら聞けないプレゼンテーションの極意を学ぶ 第2弾」研修を実施。相手に与える印象や自分の癖を知る、発声、姿勢、所作、表現技術、言葉選びなどを学んだ。

<参加社・15社 22名>

メトロアドエージェンシー、乃村工藝社、丹青社、フロンティア・インターナショナル、クラフティ、第一工房東京、小林工芸社、ディー・エヌ・エー、東急エージェンシー、大日本印刷、サピエント、ジールアソシエイツ、ノムラメディアス、ワールドカラー

② 若手交流会（JFL）ワーキンググループの発足と活動状況

若手有志による主体的な活動推進を目的に、JFL内にワーキンググループ（会員社5社）を発足し推進。

2025年度 第一回施策 「モルック大会・交流会」を実施

開催日 : 2025年7月11日

参加者 : 38名 (2025年度メンバー総数45名)

開催場所 : フットサルスタジオライズ豊洲

③ 若手交流会（JFL）企画 イベントサステナビリティワークショップ

JACE会員社で構成される「サステナブルイベント協議会」のファシリテーションにおいて、カードゲームを活用したグループワークを実施。あらゆるイベントで実践可能なサステナビリティの取り組みポイントについて、参加者みんなで考え、共有した。

開催日 : 2025年12月5日

参加者 : 27名

開催場所 : レンタルのニッケン本社

※JFLワーキンググループが中心となって、2026年1月30日「第1回JFL運動会」を企画したが、諸般の事情により、直前に中止が決定。

2-5-6 JACE視察ツアーの実施

日程 : 2025年6月10~11日

視察先 : 2025年大阪・関西万博

視察内容:

- ・10日 BLUE OCEAN DOME、電力館、業界6団体共催イベント (EXPO サロン)

博覧会協会持続可能部より、会場運営におけるサステナブル実践事例の説明を受けたほか、オーストラリア・オランダ両パビリオン担当者による先進的取組みの講演を聴講。約300名が参加するネットワーキングでは、業界団体間の交流を深めた。

- ・11日 日本館・ハンガリー館・ポーランド館

<参加社11社 25名>

アクセスサッポロ、アプレット、ジールアソシエイツ、昭栄美術、セレスポ、電通、電通ライブ、ドゥ・クリエーション、博展、ムラヤマ、ワールドカラー

2-5-7 次世代リーダー育成セッション

イベント業界の30~40代の次世代リーダー候補を対象に、電通ライブのファシリテーションで実施。

【キックオフ会議】

開催日 : 2025年11月19日

参加者 : 15名

開催場所 : 電通本社

【第一回会議】

開催日 : 2025年2月24日

内容 : 業界の労働環境と多様性の現状について有識者から学び、業界や自社の課題を抽出・共有するセッション

タイトル : 「現場とリーダーの両輪で加速する DEI」

登壇者 : 電通 執行役員 エグゼクティブ・クリエイティブ・ディレクター 真鍋氏

参加者 : 13名

開催場所 : 電通本社

2-5-8 JACE懇親ゴルフコンペ開催

2025年6月3日、懇親ゴルフコンペを開催。千葉県ロッテ皆吉台カントリークラブにて、43名が参加。

2-5-9 その他 (総会懇親会、賀詞交歓会)

2025年6月17日に虎ノ門ヒルズフォーラムにて定時総会後の懇親パーティーをJACEイベントアワードの受賞パーティーと合わせて実施。また、2026年1月27日に賀詞交歓会を昨

年に引き続き第一ホテル東京にて実施した。両会とも経済産業省はじめ関係団体幹部各位の参加も得て盛大に会員相互の交流を行った。

2-5-10 他団体との交流活動

① 経済産業省との交流

●イベント産業規模推計およびイベント消費規模推計の報告

商務・サービスグループ文化創造産業課チームメンバーに対して、報告書説明および意見交換を実施。

- ・2025年7月18日 イベント産業規模推計報告書とイベント消費規模推計報告書報告

② JCMA 等他団体の若手との交流会の実施

MICE 産業5団体※ 合同交流会「モルック大会」

※JCMA、MPI Japan Chapter、日本展示会協会、JEVA、JACE

開催日 : 2025年8月4日

開催場所 : 御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンター sola city Hall

プログラム: モルック大会、グループディスカッション、懇親会

③ イベント関連団体との交流

●イベント学会

- ・2025年6月17日 定時総会および理事会
- ・2025年11月8~9日 第28回イベント学会研究大会 於: 目白大学

●展示会関連団体連絡会（経済産業省・日本展示会協会・日本電機工業会・JACE）

- ・2025年4月18日 「展示会業界の現状」
- ・2025年6月20日 「万博におけるイベントのトレンド」
- ・2025年9月5日 「CEATEC エコ&デザインチャレンジ」
- ・2025年12月19日 「展示会2025年の振り返りと最新動向」
- ・2026年2月27日 「国際博覧会 日本館のビジネス活用」
東芝 Heritage Square 見学

④ 広告関係団体連絡会（JACE含む25団体）との交流

●広告関係団体連絡会

- ・2025年6月30日 連絡会@JAA会議室、懇親会@川府
- ・2025年9月26日 オンライン開催
- ・2025年12月2日 連絡会@JAA会議室、懇親会@イゾラブル
- ・2026年1月7日 広告界合同年賀会@帝国ホテル

・ 2026年3月9日 オンライン開催

⑤ その他交流

● (公財) 東京観光財団「令和7年度東京都MICE連携推進協議会」への参画

東京観光財団が中心となり、MICE誘致に向けて関係団体の連携を促進するための官民一体の協議会に継続参画。大畑専務理事へ委員委嘱。観光庁、日本政府観光局(JNTO)、東京都、東京商工会議所、業界団体、大学などが参加。

【MICE連携推進協議会】

- ・ 第1回 2025年7月1日
- ・ 第2回 2026年2月20日

【サステナビリティ部会】

サステナビリティ課題を検討するための部会(大畑専務理事が部会長として推進)

- ・ 第1回 2025年7月24日
- ・ 第2回 2025年12月17日

【サステナブルMICEショーケース】

高輪ゲートウェイシティで海外事例講演、サステナブルに関連製品/サービス展示を視察。

- ・ 2025年11月4日

【東京都次世代型MICE推進協議会】

「TOKYO MICEテクノロジー導入ガイドライン」に基づいた新しいテクノロジーの補助金制度に公募した次世代テクノロジーの審査に参加。

- ・ 第1回 2025年5月22日
- ・ 第2回 2025年8月25日
- ・ 第3回 2025年10月6日
- ・ 第4回 2025年10月22日
- ・ 第5回 2026年3月18日

※実証実験視察 2026年1月20日 キッザニア東京

● (公財) 共用品推進機構

「感染症対策における障害者・高齢者アクセシビリティ規格策定」規格策定のための委員会に大畑専務理事が委員として参加

- ・ 2025年9月29日
- ・ 2026年1月29日

● 一般財団法人札幌産業流通振興協会(JACE賛助会員)

- ・ 2025年6月23日 札幌産業流通振興協会評議委員会

●「広告のミライ」プロジェクト

「広告のミライ」は、広告業界が、若者にとって魅力のある、働きたくなる場所であり続けることを目指して、広告関係 23 団体が 2020 年 1 月より活動を開始した共同プロジェクトです。2025 年 8 月からは、「宣伝会議」が学生向けに新しく立ち上げた媒体「AdverTimes. for Students」とのタイアップで、賛同いただいた広告関係団体 23 団体によって、各団体から選出された会員社のメッセージ掲載をスタートした。JACE からは、8 月 28 日にセレスポの田口雄毅さんが掲載されました。

⑥ 名義申請等

● 後援名義

- ・「イベントランド北海道 2025」2025 年 4 月 16 日～17 日
- ・「2025 ワールドトライアスロンシリーズ・パラトライアスロンシリーズ横浜大会」
2025 年 5 月 17 日～18 日
- ・「第 9 回全国高校生花いけバトル香川大会」2025 年 7 月 30 日
- ・「販促会議サミット」 2025 年 10 月 23 日
- ・「Japan MICE EXPO 2025」2025 年 11 月 27 日～28 日
- ・「2025 WINTER EVENT JOB SUMMIT」2025 年 12 月 8 日
- ・「サステナブルイベントの未来」2025 年 12 月 17 日
- ・「国際 MICE エキスポ」2026 年 2 月 16 日

● 協賛名義

- ・「JAPAN SHOP 2026」2026 年 3 月 3 日～3 月 6 日
- ・「第 2 回イベント安全対策シンポジウム」2026 年 3 月 5 日

● 協力名義

- ・「JEDIS 東北地域本部企画セミナー」2026 年 1 月 21 日

2-5-11 トピックス

● 日本広告業協会（JAAA）主導「広告業界における脱炭素化研究会」との連携

2025 年 12 月 17 日に日本広告業協会、日本アド・コンテンツ制作協会、JACE の三団体共同で、「広告・マーケティング業界におけるカーボンカリキュレーター共同開発を始動」というタイトルでリリースを発表。広告・制作・イベント領域を横断し、持続可能な発展と責任あるコミュニケーションの実現に取り組むことを宣言。

以上